

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 5 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> 各工場のコンプレッサー更新に合わせて、エネルギー効率の高い機器を選定することにより電力使用量を削減した。 所内各工場の空調機の更新および照明のLED化を行い、電力使用量を削減した。 					
温室効果ガスの吸収等	区 分					実施年度 (令和 5 年度)	
						二酸化炭素換算 (t)	
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等				t-CO ₂	
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用				t-CO ₂	
		グリーン電力証書の購入				t-CO ₂	
		グリーン熱証書の購入				t-CO ₂	
		オフセット・クレジットの購入				t-CO ₂	
		国内クレジットの購入				t-CO ₂	
	J-クレジットの購入				t-CO ₂		
	非化石証書の購入				t-CO ₂		
合 計						①	t-CO ₂
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 5 年度)	対基準 年度比 (%)	
	温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 238,575 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算(t))③ 397,237 t-CO ₂	162.8	
	<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 238,575 t-CO ₂	97.8	(二酸化炭素換算(t))③-① 397,237 t-CO ₂	162.8	
	<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B						
	温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B						
排出量等の 増減理由	排出量が増加したが、法改正等により評価項目が追加となったためであり、昨年度の操業は順調に推移し、エネルギーについては適正使用量であった。						
特記事項	森林保全活動として、社有地において1.0haの植栽を実施した。						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。